

南崎の認定子ども園 今頃、断念



6月議会、市長の現況報告であれっと思った箇所がありました。次のような内容です。『以前から進めてまいりました南崎町における認定子ども園の整備につきましては、周辺道路整備に関する課題等の抜本的な解消ができない状況にあり、当該土地での事業着手は困難と判断』したというものです(左の写真は南崎町の狭い道路)。

南崎町での認定子ども園の整備が無理なことは、もう何年も前から分かっていたことですが、市が公式に断念を表明したのはこれが初めてです。

狭い道路に大きな施設 最初から無理

この問題については、2017年4月10日の市議団HPのブログで、『無理がある 南崎の狭い道路状況のところ定員200人の認定こども園なんて』という記事を書きました。「周囲の道路はどれも狭い」ことや「今でも対向車があると通行できないなど地域から苦情が出ているのに、その3倍(現在ある第一愛護園は定員60人)もの施設をつくるというのは理解できない。」などと指摘しました。

もう5年も前のことです。

市長のトップダウンが招いたお粗末な結末

その後、地域での説明会が何度も持たれましたが、この道路問題での懸念は強く、ついに理解は得られませんでした。事前に地域での聴き取りを行い、事業を検討するというやり方をしていれば、こんな無理な計画で最後には「断念」するという事態は起きませんでした。

櫻井市長のトップダウンが招いたお粗末な結末です。

野村まち協 ほたるを見る会

6月4日に野村まち協がほたるを見る会を開催しました。野村まち協では、地域を流れる竜川という小さな川にカワニナを放し、ほたるを育てています。今年も見ると開き、60人以上の大人と子どもが集まり、ほたるを楽しみました。

スタッフの人が「ほたるが去年の2倍はいる」と言った通り増えていました。

この議会報告は毎月月初めに発行しています

好きです 亀山 住みよい街に

2022年 7月 10日 発行 No. 277

こうきの議会報告

日本共産党亀山市議会議員 服部 孝規

〒519-0156 亀山市南野町6-19-1

ご意見、ご感想は kouki.giin@gmail.com ツイッターでも発信中

電話、FAX 0595-82-3646 市議団ホームページ「共産党 亀山」で検索を

4年前を超えた

市民アンケート 402通回答

もう、参院選の結果が出ている。でもニュース作成時は選挙中。通常、月の第1日曜日に折り込んでいたが、選挙中で紛らわしいのでこの時期に。公職選挙法はあまりにも制限が多い。選挙はもっと自由であって良い。

さて、皆さんにお願いしました市民アンケートですが、6月末で402通に達しました。郵送が332通(うち服部宛が129通)、Web 上が70通(6月上旬現在)となっています(Web でのアンケートは今回が初めて)。4年前、同じ1万枚を配付して返送が381通だったので前回より増えています。まだ返送していない人もいますのでもっと増えそうです。

有権者の100人に1人が回答したことに

亀山市の世帯数が約2万なので半分の世帯に配付し、有権者数が約39,000人なので100人に1人以上が回答していただいたこととなります。手配りで配付していただいた皆さんに感謝です。

アンケートを読むと1通1通に想いがこもっています。アンケート結果を分析し、今後の活動に生かします。回答いただいた皆さん、ありがとうございました。

いただいた意見から一つ紹介します。

アンケートがきっかけで・・・

『市議会だよりを見るといつも市民の立場に立った良い疑問をされていると高評価しています。地方で共産党系の議員さんはよくやっているといます。先に書きましたが、私はがちがちの保守ですが、実は亀山市議の選挙では、いつも共産党の方に投票しています。これからも頑張ってくださいたいです。』

またアンケートに書かれた相談を取り上げ、市に問い合わせたところ制度の対象外だと思っていたのが、対象になることがわかり多額の還付が実現した例もありました。ご協力、本当にありがとうございました。

東小学校体育館の雨漏り

コロナ対策で文化会館で卒業式？



6月議会の一般質問では、東小学校体育館の雨漏りを取り上げました。まず、服部教育長と櫻井市長に卒業式が体育館でできずに文化会館でやったことについての見解を問いました。

服部教育長は、「コロナ対策と、より広い場所でやりたいということでやった」(市長も同様)と答弁しました。しかし雨漏りがなければ、迷うことなく体育館でやったのですからこの答弁はひどすぎます(写真は6月6日の体育館一水で窓の光が床に写っている)。

櫻井市長が答弁「調査して対応していく」

次に櫻井市長に体育館の屋根を改修するための予算措置を求めました。市長は、「(雨漏りが)どのような原因でどのような手法で解消するのか、しっかり見極める必要がある」、「(その上で)それに対応していく」と答弁しました。具体策ははっきりしないので何度か再質問をしましたが、いつ、どのようにやるのか最後まで明らかにしない答弁でした。東小学校体育館の雨漏りは、この質問の翌日に、新聞で大きく報道されました。

「思い出の校舎がいいに決まっている」

その後、議会の録画放送をケーブルTVで見た当時の関係者の方からメールが届きました。東小体育館の雨漏りで卒業式ができなかったことに対する教育長の答弁に「びっくりした」、「好き好んで文化会館でやったわけではない」、「雨漏りがなければ思い出の校舎がいいに決まっている」と怒りのメールでした。

長寿命化計画の策定は改修をしない口実だ

学校施設で改築や修繕が必要な所はたくさんあります。ところが教育委員会は改築や修繕ではなく、施設の長寿命化計画の策定に取り組むとしています。計画を立てるまでもなく、今すぐに手を付けなければならない建物がいくつもあります。東小以外にも亀中の体育館、校舎もそうです。

施設の長寿命化計画の策定は、こうした改修に手を付けないことの口実として使われているとしか思えません。もっと真剣に向き合うべきです。

都市計画決定前の予算は認めない



6月議会では、市道小野白木線整備事業予算8,300万円(全額市負担)が出され大きな議論になりました。これは太岡寺地内へのコストコの進出により周辺の交通渋滞が起こることが予想されるため、その解消のための道路改良(右折レーンの設置)事業予算で、党市議団として次の3つの問題点を指摘しました。

一つは、この工事にかかる前に都市計画決定が必要なこと(9月頃になる予定)、その後、開発の届出がされ、森林法や砂防法、農地法などいくつかの開発の許可や届けが必要であり、その中でも亀山市環境保全審議会という重要な審議がなされていないことなどの状況下で、議会として予算の議決はするべきではないということです。可決すれば議会のチェック機能が果たせなくなります。

道路法第24条では事業者が全額負担

2つ目は、道路法第24条では事業者が全額負担すべき内容の工事だということです。田村町に進出したビッグや菅内町に進出したオークワサウス亀山店の県道の道路改良は、県は全額事業者負担にしています。これが道路法第24条であり当たり前なのです。今回のような市が全額負担するという前例をつくれれば今後の同様の事業も市で負担することにつながります。

環境より開発を優先するな

3つ目は、第2次亀山市総合計画で「緑の健都 かもやま」を大看板にしなが^{めつり}ら、法令に則り自然環境を保全することよりコストコのできるだけ早期に操業したいという企業要望を優先していることです。シャープ誘致時に、亀山市は環境より開発を優先し、様々な問題を引き起こしたことから何も学ばなかったのでしょうか。一例をあげれば、造成地に140例もの猿の息が確認されていたのに、それを考慮せずに造成工事をしたため、一気に猿を追い出し、現在のようなまちなかにまで出没する要因となりました。

党市議団は、コストコの進出や右折レーンの設置に反対しているのではなく、行政としてその前にやるべきことがあるということを指摘しました。この予算案の修正案を提出しましたが、否決されたためこの予算案には反対しました。